## Evidence-based Linguistics Workshop 2023

発表論文集

2023年9月14・15日(木・金)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所 編

## 目次

•	アタヤル語群の「星」に見られる様々な派生形	
	落合いずみ (帯広畜産大学)	1
•	想起テストに見る多義語「甘い」の習得:小学5年生・中学2年生・大学生を対象に	
	西内沙恵 (北海道教育大学・筑波大学:学生)1	4
•	西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化 - 2 つの動機に基づく待遇化プロセス -	
	鴨井修平 (日本学術振興会特別研究員)2	2
•	「構成の反復」の並行性についての構文文法的記述の試み	
	伊藤薫 (九州大学)3	9
•	ローマ字・カタカナ・キリル文字によるアイヌ語 Universal Dependencies の可能性	
	安岡孝一(京都大学)・安岡素子(京都大学・京都外国語大学)4	7
•	日本語の謙譲表現を含む文の処理における類似性の効果	
	胡春霞 (関西学院大学:学生)・中野陽子 (関西学院大学)6	1
•	統語構造の証拠として韻律パターンを使用することの有効性ー現代韓国語の属格主語構造を一	_
	例として一	
	金英周 (帝京大学)・五十嵐陽介 (国立国語研究所)・宇都木昭 (名古屋大学)・酒井弘 (早稲田ス	
	学)7	4
•	編集後記	
	浅原正幸 (国立国語研究所)8	1
	124/41-± 1 (H → HBH:/12 €//1) ···································	-